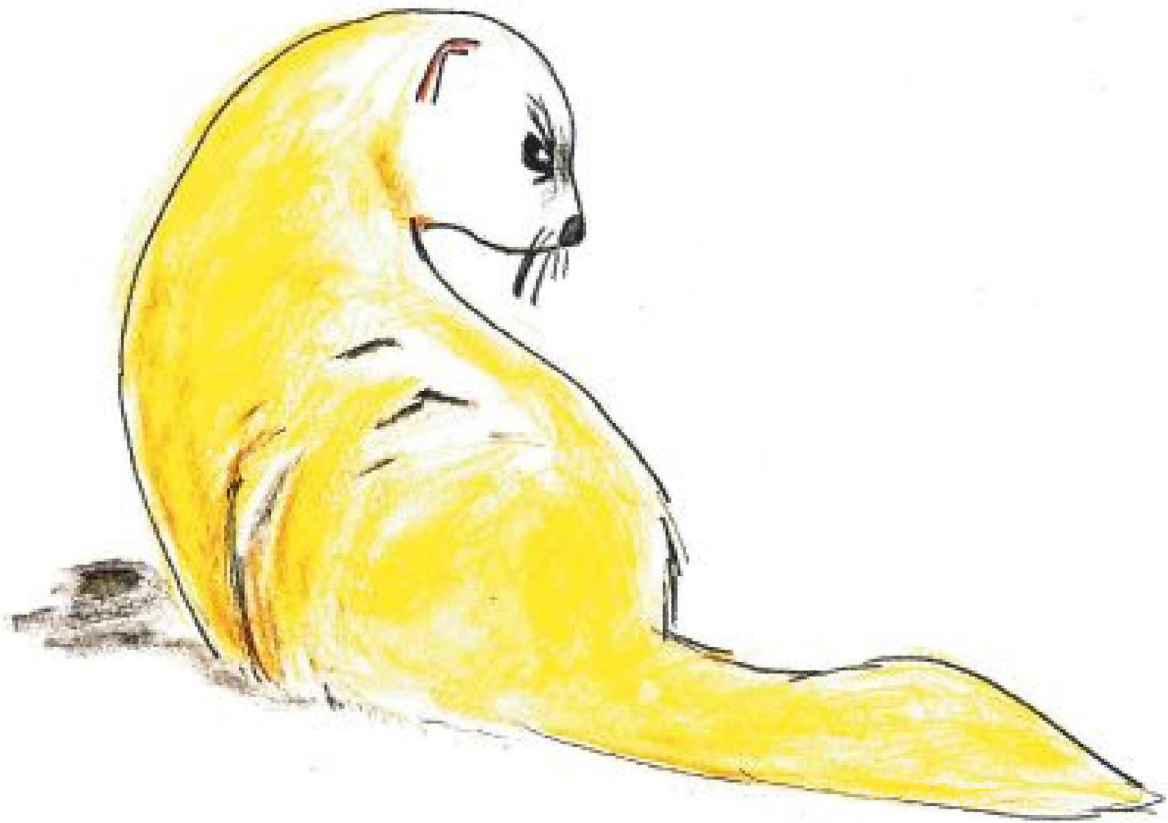


森のおくりもの2月



テン（イタチ科）



イラスト：宮井克弥さん（太白区）

まだまだ寒さは続きそうです。積雪は2月に入ってますます増加する一方のようです。そんな中でも、たくさんの動物たちは、まっ白な雪の上に無数の足跡を残してくれております。雪におおわれた冬の森を、動物たちの動き回る姿を想像しながら歩いてみませんか。

（館長 菊池正行）

# みつけてみよう！忍者虫 「コミミズクの幼虫」



今回紹介するのは「コミミズク」です。「コミミズク」と聞くと、フクロウを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。同じ名前を持つセミに近い仲間の昆虫「小耳蟬（こみみずく）」がいます。雪化粧をした観察の森で「はおとの道」を歩くと、今、幼虫越冬している姿を観察することができますよ。前号のマユを探すより、少し見つけずらいですが、クヌギの小枝のシルエットが少し膨れているのをヒントに、トレイルを歩きながら探してみましよう。

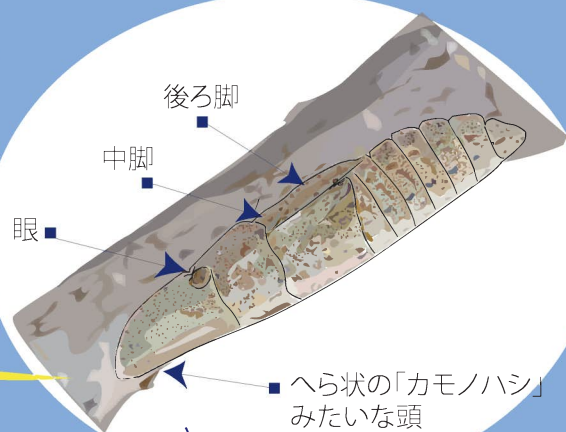
## 小枝に化けるのが得意

## ●コミミズク●

成虫になると羽が生えてこんな姿になるよ。



セミのように尖った口を木に差し込み汁を吸って生きています。



今は幼虫だけど、春になると〜んん!

【体長：約1cm】

枝にぴったりとはりついてとまっている幼虫。変わった形をしています。複眼がなかったら、どっちが頭かわかりませんね。体は隙間なく枝にはりついていて、前足は完全に体の下にかくれて見えません。中脚と後ろ脚が重なるようにして一部見えますが、体に隙間なくくっついているので境目もわかりにくいです。体の色合いや表面の質感も枝にそっくり!!! コミミズクはクヌギやコナラの汁が好きなので、それらの小枝を探ることが見つける時のポイントとなります。わずかに膨らんでいる?と思ったら、コミミズクかも!

今年、茶色と緑色の2パターンを確認しましたが、緑色のものは居なくなってしまいました。(ショックっ)こんなに上手く隠蔽擬態(カモフラージュ)しているのに、敵に見つかってしまったのでしょうか……。何で緑色だったんだろう……。 【レンジャー:黒川 周子】

## バードテーブル情報

センター裏庭に設置したバードテーブルもだんだんとにぎやかになり、1月だけでも12種類の野鳥たちがやってきました。エサも種類が増えました。ひまわり、ヒエ、アワ、家禽のエサ、古米、バードケーキ、リンゴ、ミカン、ピーナッツなどなど。

先月から研修室には「バードテーブル野鳥チェックシート」を設置しています。これは見に来たお客様がどんな野鳥が確認できたか、自由にチェックできるシートです。このような積み重ねが貴重なデータになっていきます。もしわからない鳥がいたらレンジャーに聞いてくださいね。

ところで1月13日の朝、ちょっとしたアクシデントがありました。バードテーブルを見てみると、ピーナッツを吊るしていた針金ごと木の枝から引きちぎられ、バードケーキも丸ごとなくなっていたのです。小鳥たちが食べたのではなく、何かほかの動物の仕業のようです。ハクビシンか？テンか？？今度センサーカメラを仕掛けてどんな動物が来たのか確認する予定です。お楽しみに！

野鳥用エサは随時募集しています！リンゴ、ミカン、古米なんでもOK。ご協力お願い致します。  
【レンジャー： 齋 正宏】

### 2月の餌台の様子



※バードケーキ 小麦粉に牛脂を混ぜ砂糖などを入れて練ったもの。シジュウカラなどがよく食べる。  
※家禽のエサ とうもろこし、マイロ、大豆油かす、なたね油かす、米ぬか、ふすま、魚粉などが原料の鳥の餌



## まっ白な自然観察の森から

1月は例年よりも寒い日が続いたように思います。また、雪降りの日も多かったので、散策路はもちろんのこと、自然観察センターの前や周囲もまっ白な雪で覆われております。2月もまた1月以上に寒い日が続くことが予想されます。

そんな中、自然観察の森に暮らす生きものたちは、その生きている証をいろいろな形でたくさん残しつつ、それぞれ活発に動き回っております。

これらの痕跡をたどりながら、森の中を散策するのも冬の自然観察の森の楽しみ方の一つかと思えます。実際に動物の姿を見ることができなくとも、その痕跡をたどりながら、いろいろな動物の動き回る様子をイメージし、純白の森を歩き回るのは冬だからこそその楽しみではないでしょうか。

さて、1月19日に開催しました「森の講話会」は、たくさんの方々にご参加いただきありがとうございました。今回は、「森とのつきあい方 一人と野生動物の共通感染症について」と題して開催しました。これは、この森を利用されている方々や私たち職員が、森の中で活動する際に知っておいた方がよいと思われる知識として感染症を取り上げたものです。というのも、感染症の多くは野生動物を含めた動物との共通の感染症であり、相互に感染する可能性があるものです。

そこで、人と野生動物の共通感染症について知ることにより、ほんの少しの注意でその予防が可能となることから、これまで以上に安心して森を楽しむことができるようになるものと思えます。

今回の講話会の講師をお願いしました仙台市衛生研究所の管野敦子さんは、現在、衛生研究所内に設置されております「仙台市感染症情報センター」の担当者であります。八木山動物園でも勤務された獣医師でもあります。ということで、今回の講話会の目的はもちろんのこと、多くの野生動物のお話を交えた楽しい時間となりました。自然を愛好する私たちにとって勉強になったうえに、たいへん楽しめた講話会になったかと思っております。

今回、仙台市衛生研究所の全面的なご協力をいただき、管野さんにおいでいたことにつきましてここから感謝するとともに、このような講話会をこれからも定期的で開催し、次回も講師としてお招きしたいと思っております。次もまた多くの方々のご参加をお願いいたします。

【館長：菊池正行】

# 2月のイベント

16日(土) 13:30~15:00

森の講話会

## 「写真から見るステキな虫たち 仙台の昆虫写真スライドショー」

仙台市在住の昆虫写真家が撮りためた多くの写真から、素敵な昆虫たちの世界をご紹介します。

**会場** 自然観察センター 研修室

**定員** 先着30名

**講師** 昆虫写真家 中瀬 潤 氏

**参加費** 無料

**申込み** 2月6日(水)午前9:00から電話で



※掲載の写真はイメージです。中瀬氏の作品ではありません。

### 自然観察センターからのお知らせ

※落し物が目立っています。センターでお預かりしていますので、心当りの方はどうぞ。

※センター入口のホールが、雪の日はたいへん滑りやすくなっております。

お越しの際は十分に注意していただくようお願いいたします。



毎週  
日曜は

### 「ガイドウォーク」の日!

2月のテーマは『森とけものたち』です。  
雪の上に残された足跡などを観察します。

**実施日：3日、10日、17日、24日**

10:00~11:30(1~3月は午前中のみ開催)

◎申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



**表紙の絵や  
原稿を募集  
しています。**

里山や自然に関するものを  
描いて(書いて)ね!  
レンジャーからのプレゼント  
があるよ!!

### 2月の休館日

4日、12日、  
18日、25日

◎11日が祝日のため  
12日が休館日です。

### ♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」が  
カラーでご覧になれます。

**「太白山 森のおくりもの」で検索。**

「杜のひろば」のURL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2013年2月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: [taihakusan\\_moushikomi@sendai-green-association.jp](mailto:taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp)